

2009年3月18日

各位

会社名 ソニー株式会社
代表者名 代表執行役 中鉢 良治
(コード番号 6758 東証・大証 第1部)
問い合わせ先 IR部門 部門長 土川 元
(TEL: 03-6748-2111(代表))

2008年度期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2008年度(2009年3月期)の期末配当予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 修正の理由

世界的な事業環境の悪化を踏まえ、当社は2009年1月22日に2008年度連結業績の見通しを下方修正いたしました。その結果、2008年度の期末配当予想につきましては、当初予想の1株につき20円から前年度と同額の1株につき12円50銭に減額させていただきます。

なお、期末配当金は、2009年5月に開催する取締役会にて正式に決定され、かかる決定に従い、2009年6月に支払われる予定です。

2. 修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間配当	期末配当	年間配当
前回予想	30円(実績)*	20円	50円
今回修正予想	30円(実績)*	12円50銭	42円50銭

* 特別配当10円を含む。

前年度実績 (2008年3月期)	12円50銭	12円50銭	25円
---------------------	--------	--------	-----

※将来に関する記述等についてのご注意

この発表文に記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いた

ものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向ならびに最近の金融市場および住宅市場における世界的な危機、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入と急速な技術革新や、エレクトロニクス、ゲーム、映画分野および音楽ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争の中で、十分なコスト削減を達成しつつ顧客に受け入れられる製品やサービス(ゲーム分野において新たに導入されたプラットフォームを含む)をソニーが設計・開発し続けていく能力、(4)技術開発や生産能力増強のために行う多額の投資を回収できる能力およびその時期、(5)ソニーがエレクトロニクス分野でビジネス事業再編を成功させられること、(6)ソニーがエレクトロニクス、ゲーム、映画分野、その他および音楽ビジネスにおいてネットワーク戦略を成功させられること、映画分野および音楽ビジネスでインターネットやその他の技術開発を考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること、(7)ソニーが主にエレクトロニクス分野において研究開発や設備投資に十分な経営資源を適切に集中させられること、(8)主にエレクトロニクス分野およびゲーム分野において、ソニーが製品品質を維持できること、(9)ソニーと他社との合弁、協業、提携の成否、(10)係争中の法的手続きまたは行政手続きの結果、(11)生命保険など金融商品における顧客需要の変化、および金融分野における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否、および(12) (市場の変動を含む)日本の株式市場における好ましくない状況や動向が金融分野の収入および営業利益に与える悪影響などです。ただし、業績に不利な影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

以上